スタディーセンター研修を終えて

第 79 回生　前川　琴美

今回のスタディーセンターを通じて、たくさんの人と話すことが出来て本当に充実した２日間になったと思います。行く前までは、みんなと仲良くできるか、心配だったけど、グループワークをするごとに、話せる友達が増えていくのがうれしかったです。

目的である協調性は、グループ対抗のゲームや、全員が協力しなくてはできない誕生日の並び替えなどを通じて、人と協力することはしっかりと学べたと思うし、これからの学校生活においても、大切となるものなので、今後も心掛けて生活していきたいと改めて感じることができました。また、自分に手紙を書いたり、自分の取扱説明書を書いたりすることで、自己を見つめるという目標に取り組むことができたと思います。普段自分の得意、不得意などは、意識しないことなので、このような活動をすることで改めて、自分について考え、意識づけができたと思います。自分に手紙を書いたときには、私は、今の状況を記録しようと思い、私の現時点での気持ちや状況を考える機会にもなりました。この手紙を夏に読むと、その時の気持ちや現状を比べて自分の成長が分かったり、新たな目標も生まれると思います。目標の２つ目に「相互理解」という言葉があり、他者に関心をもつことであると教えてもらいました。グループ内で自己紹介をしたり、画用紙にメンバーのよい所を書いたりすることで、友達のことを知ったり、その人について考えたりすることができました。その人のことをもっと知りたいと思って休み時間に話すこともできて良いきっかけになったと感じました。

この一泊二日のスタディーセンターで、少しは人間的に成長することができたかなと自分では思っています。高橋先生の話は、為になることばかりでした。これから先、ますます忙しくなり、実習も多くなり、苦しむこともあるかも知れません。そんな時は、クラス全体で助け合って協力していかなければなりません。今回のスタディーセンターで、クラスのみんなとの距離も近くなったと思います。これからも“同期”として支え合っていける仲間になれたらいいと思います。41 人全員で目標としている看護師になれるように、努力して、お互いを励ましあっていきたいです。これからの学校生活は、不安もあるけれど楽しみなこともたくさんあります。悔いのない充実した３年間になるようがんばります。